

労働保険事務
組合へ加入で
経費の節約を

大森工場協会会報

第 15 号
昭和62年 1 月 1 日
発行 社団法人 大森工場協会
編集委員会
東京都大田区中央2-11-10
TEL. 03(771)4744・(772)6474
FAX (772) 9340
印刷 城南印刷工芸(株)
TEL. 03 (752) 3 3 9 1



21世紀を目指し 心の拠り所になる会館作り

木村会長にインタビュー

情報サービスも随時実施

工業が立地しやすい町づくり 各団体と連携し行政に積極活動 大田区工業の空洞化を防ごう

あけましておめでとうござい
ます。本日は昨年の総会
で大森工場協会9代目会長
に就任されました、トキワ
精機㈱の木村会長に新年の
抱負をお伺いします。

木村 会員の皆様明けましておめ
とようございます。
田高不況に苦しんだ61年、先行
き不透明な62年 と工業関係者に

とって、一段と厳しい時代です。
図らずも、会長をお引き受けす
る事になり、半年が経過しました。

若年会員の活躍に期待

アンケートを生かし意見を反映

木村 会館の改装につきましては、
本拠地として会員が集まり易い、
情報交換も出来、融和も図れる場
所として、新年度に予算を計上し
進めていきます。

現在、入沢・高木両副会長を中
心にプランを立てて貰っています
が、会員の皆様からも「こうした
らどうだ」という御意見を是非お
聞かせ願いたいので、併せて会員
アンケートも実施致します。

会員サービスについても、案が
いくつが出て来ていますので、出
来る所から手をつけてゆきます。

協会の財政基盤確保の問題もあり
ますが、仕事をして行けば会員も
増えるし、財政基盤も確立してい
くでしょう。まず実行する事です。
会員外の工場主の人と話をす
る事がありますが、皆さんの抱
負を求めています。協会がメリッ
トある協会として拠り所になれる
ように頑張ります。

中小企業センター誘致につきま
しては、工連・商連・商工会議所
大田区と協同して、是非大田区に
持って来れるよう、東京都に働き
かけていきます。
又、新年度には住工融和をはか
る為にも、工和会や大森工場友の

未だ不慣れではありますが、大
田区に立地する会員の皆様に、少
しても働き易い環境づくりが出来
る様に微力を尽したいと思いき
ます。
どうぞよろしくお願いたします。

◎新春講演会講師決定
このほど新春恒例行事の講演
会の内容が決定しました。
演題「世界のジョークと日本」
講師は慶応義塾大学名誉教授
で大田区立郷土博物館長の、西
岡秀雄先生です。人文地理学
権威で色々な著書を出して居ら
れますし、趣味で収集された世
界各国のトイレットペーパーと
それにまつわる珍らしいお話等
でテレビに出られましたのでご
存知の方も多いと思います。今
度も明るく楽しいお話を頂
くことになって居りますのでご
期待の上ご参加下さい。

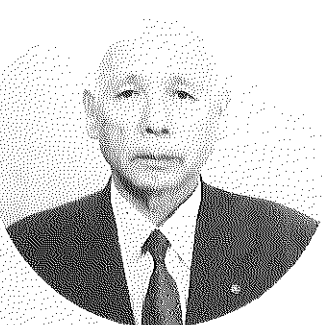
会では実施されている。納涼まつり
のような企画を立てる予算を計上
したい。
これらの活動を行う上でも若い
人の力を結集できる組織づくりに
も取り組まねばならないと思いま
す。

大企業跡地について、働き
かけを行っているそうです
が、内容をお聞かせ願いた
い。

大企業跡地に工業用地確保

木村 大田区の成り立ちからいっ
ても、工場が出来、それを取り巻
いて商店が出来、住宅が出来た。
このような町づくりがなされてき
てきたのだ。

さて来た工場の跡地には、顕彰
碑の一つも立てていないのではな
いだろうか……
立ち退き企業ばかりでは、大田
区の工業は空洞化する。跡地の全
てとはいわないが、何割かの土地
は工場用地として確保し、小型テ
クノポリスでも、工場アパートで
も作って拠点とする。その為にも
業者が入る前に情報が欲しいし、
行政に働きかける場所があれば便
利です。



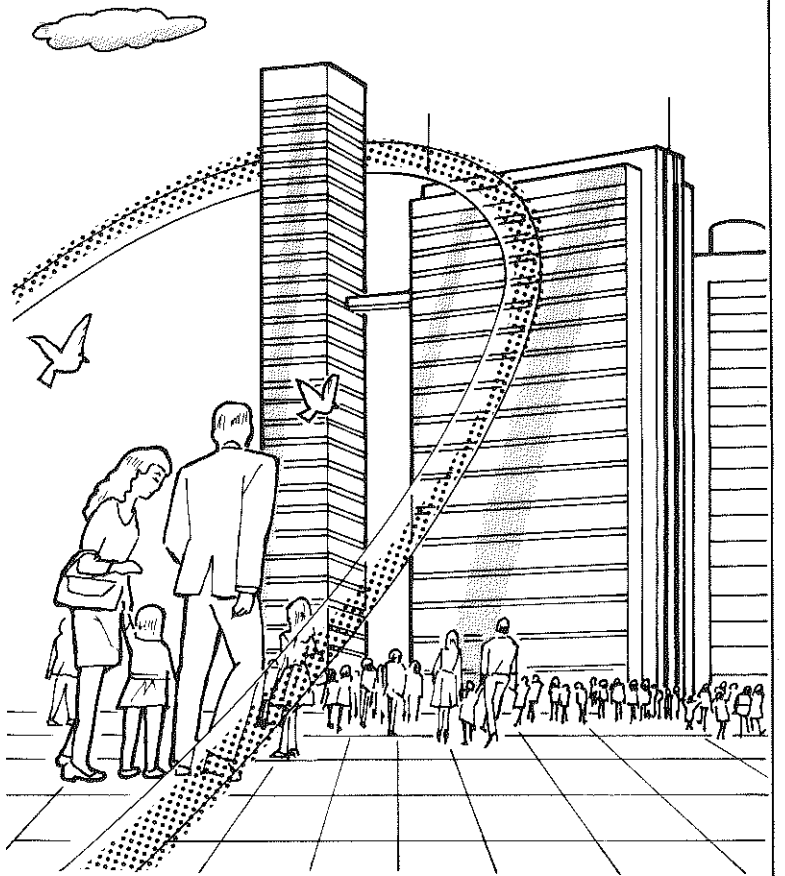
木村 大田区には歴史的にもあるわけなのに、
公害問題等その時の情勢だけで判
断して、工場を悪者扱いにする様
なことはいかげなものだろうか。
これは余談だが、大田区を發展

陳情もし、区の色々な会合にも
出席しています。大田工連での区
会議員との懇談の場においても、
我々は「大田区で工業を営み、生
活をしていく」ということをはっ
きりと発言し、工業と商業と住民
がどのように調和すれば、希望の
持てる町づくりが出来るか、行政
側に提言していきたいと思いま
す。

新年 謹賀

社団法人 大森工場協会

- | |
|---|
| 顧問
安田 康三
小倉 昭一
高島 良成
千原 義雄
相談役
古川 義夫
梅田 利雄
上杉 貝助
会長
木村 吉男
副会長
入山 英太
片山 光郎
高木 昌一
理事
鈴木 一男
伊勢 養治
大塚 和
中道 金吾
遠藤 芳光
吉田 彰一
大塚 和
助川 正夫
丸山 義夫
舟橋 信雄
上杉 利雄
監事
尾川 義徳
古川 義徳
YMCクラブ幹事長
舟久保 利明
第一支部長(代行)
大塚 和
第二支部長(代行)
丸山 義夫
第三支部長(代行)
舟久保 利明
第四支部長
柳谷 恒雄
第五支部長
久我 正剛
第六支部長
山沢 澄夫
第七支部長
渡辺 正成
第八支部長
小泉 正英
第九支部長
上原 行康
第十支部長
中西 真彦
第十一支部長
助川 正義
第十二支部長(兼務)
伊勢 養治 |
|---|



「仕事に直結する

自由貿易都市を

●東京にビジネスの拠点を獲得しようとしている企業が、諸外国では800社、日本の地方企業でも800社、合計1600社あり、それら企業のオフィス確保の影響もあって、地価が高騰しているという話を聞いた。空港跡地200haは、ビジネス街にしてはどうか。

●我々に出来ないものを創って貰う。常設の国際見本市会場などどうだろう。国連加盟国は159、非加盟国11で、170の国家があるが単純に割り当てれば一ヶ国1ha(三千坪)になる。滑走路の傍で高さ制限を受けるだろうから、何階建になるか分らないが、もし仮にスペースがたりなければどんどん埋め立てていけば良い。

我々が望む

工場協会を考える！

●見本市も万博のようなお祭り気分の物では困る。駐在員においてカタログがあり、コンピュータ・ネットワークになっていて、特産物とか、原料がいくらで入るとか、小さい会社の情報もあり、仕事の情報も調べられるビジネスの窓口が欲しい。

●日本は経済大国として、貿易摩擦等で非難を浴びているのだからいっそ税金をとらないとか、土地の無償貸与とか、いろいろ援助をして、各国の利益につながる自由貿易都市はどうか。しかもその都市は技術の粋を結集した未来都市のモデルとしてつくり上げる。

——と議論が盛り上りました。他にも付随した施設として、カジノ・競馬場・ミニワールドといった話も出ましたが、制約のない、情報が気軽に手に入る自由貿易都市と結論された所で第2のテーマ「工場協会を考える」に進みました。

協会のPRを

●講演会・見学会・会報発行・保険事務・健康診断・表彰制度等と協会は実務面でいろいろと活動しているが、PRがたりないのではないかと。新規会員に対してもそうだが社長が知っていても担当者が知らなかったという話を聞く。再度協会はどんな活動をしているのか、徹底したPRをしてみてもどうか。

会員の皆様明けまして
おめでとうございます。

司会
アポロ通信工業株
中道 金吾氏



羽田空港延伸による

200ヘクタールの

跡地を考える

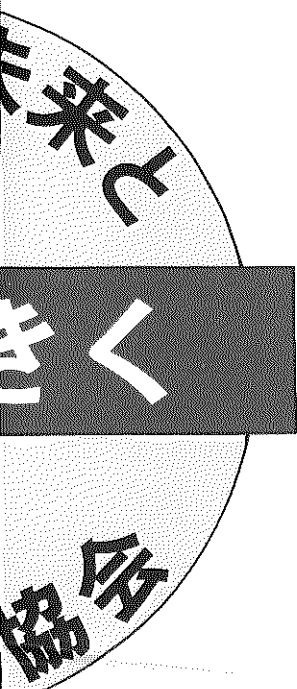
——司会者の挨拶で放談会は始まり、途中脱線しながらも活発な意見がかわされました。紙面の都合上、要約を列挙します。

司会——今回は若年の頭脳明晰な経営者の皆様に、新春放談会として、羽田空港の跡地利用と協会の今後という2つのテーマで話を進めることにします。放談会らしく大風呂敷を広げ夢を語ってもらいたい。

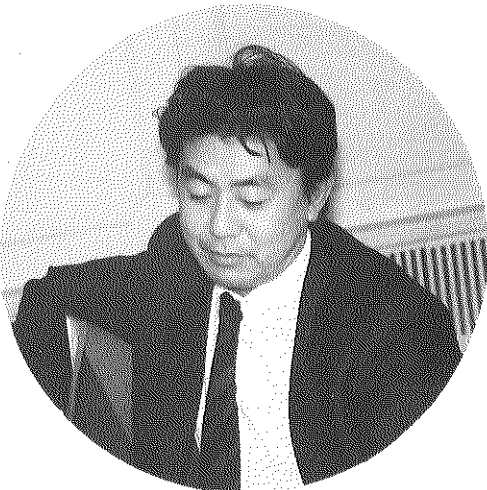
一つ目のテーマである、羽田空港延伸により出来る、200ha(約60万坪)という広大な跡地を、大田区で工業を営む人間としては、どう利用したいか、活発なご意見を伺いたい。

無口な

大田区工業界



協会



●サロンを作ってみようか。大きな会社になると自分達の中にバーやサロンを持っている協会にもそんな場所があってもいいのではないかと。場所があれば会員制にしてエクゼクティブ・クラブもつくれる。人が集まる場があれば情報交換もできる。協会は我々のテレポトになってほしい。

簡単にできる
カセット・テープ・サービスを

● いくつものシンポジウムに参加したが、どちらかというと商業主体の開発の話に終始している傾向がある。

この辺で我々も工業人の立場から意見をいって見る必要があるのではないかと。

● 蒲田の再開発シンポジウムにいったが、確かに商店街主体の話で、工業は追いやられた感じがした。



● 東京ガスが沖合に出る。跡地(3万坪)を工業関係に開放する様に区へ陳情に行ったら、一般がやってくれば一石三鳥だといわれた。区から工場がなくならないし、税金は入るし、区としても助かる。我々工業人も大田区で工業の立地条件を良くする為にも、強力に働きかけよう。

「国際空港・羽田と

世界の

200ヘクタール

● 日経紙上に13号埋立地・テレポート(情報基地)計画の記事が掲載されていた。13号埋立地は98haあり、10万人の就業人口を要する。これは新宿副都心計画より就業人口で2倍、面積で4倍になる。

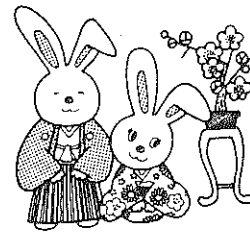
空港跡地200ha(60万坪)は、13号埋立地の2倍の面積になりますから大変な器ということになりますね。

大田区

夢は大

大森工場

新春 放談会



出席者

(株)昭和製作所
舟久保 利明氏

(有)伊藤製作所
伊藤 誠二氏

磯上歯車工業(株)
磯上 雄司氏

三力工業(株)
入澤 英明氏

協会はサービス業

● 工場協会は必要なのかから考えてみたい。協会の必要性とは何か、それは我々がサービスを受けられるかどうかではないか。協会には2種類のサービスの仕方があると思う。一つは保険事務等の実務的なサービス。一つは会員である社長が受けるサービス。端的にいうと情報を提供すること、くつろげる場所を提供することだと思ふ。そういったサービスによって会費を払うメリットが出てくる。会費が安いよりも、「これだけの事をサービスするのだから金を払ってくれ」ではないのか。積極的にやってみよう。

サロンを作ろう

● 今の協会では気軽に立寄って、コーヒーだ、おしぼりだという雰囲気ではない。環境づくりが必要ではないか。女子職員の採用も結構だ。情報交換の場としても、40社余りの会員の拠点として会員が立ち寄る気になる協会にしてほしい。

事務局を強化して積極策を

● 今迄も色々な話が出て立ち消えになっていた。資金もないこともあったろうが、要はやらなければならぬ人が社長連中だったという事だ。忙しい社長に協会の業務をやらせても社長業が忙しくなれば放り出さざるを得なくなる。

企画・立案は事務局でやり、理事会では報告をうけ承認の決定だけをする。実行はプロに頼むか、それとも事務局を強化して任せるか。このようなシステムにしていく為にも事務局長に大巾な権限を与えるべきだ。

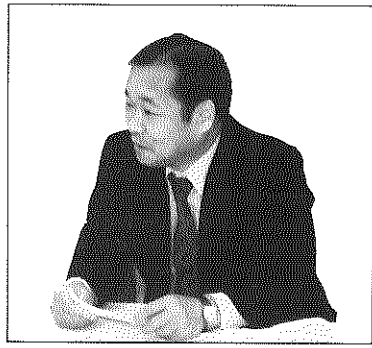
アンケートを採ろう

● 今、会館改装の話が現実に出ているが、協会としていくつもの案を提出して、会員にアンケートを採って見たらどうか。会員が協会に何をのぞんでいるのかも聞いてみればどうだ。今迄の発想を転換して、会員にアプローチしていく協会になってほしい。



社員意識調査実施

手駒になってくれる 社員を育てる



株式会社 伊勢 養治

情勢は益々厳しくなっている。品質やサービスが良いのは当たり前、要は値段が勝負だ。但し、値下げだけでは話にならないので、新製品を次々に作り出すことに全力を注いでいる。

そこで将来に備えての心算として、社員の意識調査を行い、結果をランク付けしてみた。

● 地方工場（海外を含む）へでもどの職場へでも喜んで行く……A
● 命令であるならば行く……B
● 極力避けたいが最終的には嫌々ながらも行く……C
比率では圧倒的にCが多い。50名の社員中、Aは申し訳程度、Bが20%でその他がC、等にも棒にも掛らぬ代物Dも15、20名位居る。将棋を例にすると、上手な人は盤上の駒を有効に動かすが、へボ程、手駒を欲しがらる。私がそれで、大駒でもうまく使えないので必要な時に都合の良い所へ打てる手持ちの駒があると心強い訳だ。私は常々社員に「私の手駒になって呉れ」と言い、又「ABC以外の人件費は計算外だ」ともズケズ

ケ言って居る。初めて試みた結果から考え、うまく導いて半年後位には全員がAになる様にしたい。そうしなければ下手な将棋指しでも

第2回 理事支部長研修会開催

12月3日 大森バンケット・ホール

（株）車田製作所 意見発表者 伊勢 養治氏
（株）アポロ通信工業 中道 金吾氏
司会 車田 昌一氏



ブレインは社長のコピー人間になれ”

私は我々零細企業のオーナーは、実行も大切だが、先ず「見たり聞いたりすること」が必要なのだと思っている。活発な質問をどうぞ。

Q Dランクの人の年令層は？
A 比較的若い者が多い、独身で仕事はどこにもあるサ、という感

何とか「手」になるだろう。但しこれは現実成功した話ではない。或るH、突然に皆居なくなってしまうかも知れない。その時はサツパリと諦めるだけだと腹を決めてかかれれば、火もまた涼しの心境になれる。

兎に角頑張るやるしかない。

Q 地方工場と東京工場との比較？
A 地方工場の方が消極的でCが

多い。親は離れたがらず、子供も親許が居心地が良いのか動きたくない（学校を出て入社するとすぐにはピカ／＼の新車を買って貰ったりするものだから）。

Q 地方工場を見に行く割合は？
A 2ヶ月に1回位。時にはカミナリを落とすこともあるが、ありの

徳育を助長し 視野の広い 人間教育を

アポロ通信工業株式会社 代表取締役 中道 金吾
本社は中央6丁目だが、工場は相模原で、パートを含めて30名程の零細企業。6割がコンピュータのアクセサリ。自社製品を思い、コンピュータ部品の検査機を作り、現在4回目のモデルチェンジをして、期待をもって売り出す所だ。資金力の乏しい会社だが、今日まで19年続けて来られたのは、同じ加工にしても他社と競合しない特殊な品物を手掛け、進んで来たことが原因だと思ふ。

今の5割位が加工仕事で、ご存知の通り値段が厳しく、カメラのCMの「3割4割引は当たり前」を見て、自分から値下げするバカが居るかと思つたが、下げないと注文を貰えない状況になった。決算を昨年と比較すると、売上げは15%伸びたが利益は50%ダウン。この様な加工に依存しては後1年間もたないのではないか。

見切りをつけ 国外脱出も？

今、台湾や韓国と同業種、特に韓国のコネクタ/関係は素晴らしい伸びを見せている、この分だと、

ままを見たいと思ひ、お忍びで行こうとしても、いつの間にか情報が入っている。

Q 情報収集の方法とブレインは？

A テレビでも何でも、これと思ふものは皆情報になる訳だが、主として新聞と雑誌だ。留守をするとなつて大変なので、ワープロで

人間の加工はもう限界でギリギリまで我慢せよに見切りをつけて

海外へ……になりそう。海外へは困るといふ者も多からうが、私共では行かざるを得ない所まで追い込まれて居る。

④（次に協会に対する提言がありましたが、2、3頁と重複しますので紙面の関係上割愛させて頂きます。）

手先の器用な程 頭の回転が良い

従業員の問題で話が出て居たが、今の子供達は、頭の良し悪しではなく、親達が学力の向上のみに気を使うあまり、徳育に欠けるところがある。狭い視野でしか物事の判断が出来ないまま社会に出る為、やる気と行動が一致せず、良い結果が生れない。

要約して貰ってポイントだけでも纏めればと思つている。又、多少問題のある社員を使い、情報収集にあてている。扱い方一つで役立つ様になる場合もある。

ブレインについては営業、技術、海外、生産の4名の本部長（役員）が居るが、彼等には「私のコピー人間になれ」と言つている。つま

豆を摘ませてみると判るのだが

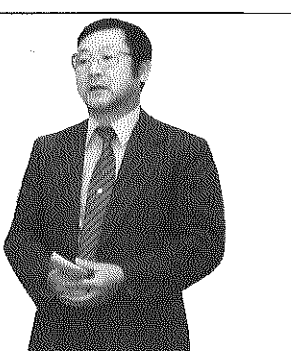
箸も上手に使えない若者が多い。医者話によると、手先が程々に動かないと頭の働かし（いわゆる回転）も悪くなるそう。確かに納得出来る事実である。又、女子大の先生の統計調査によると、女子の新入社員で非常によく気が付く者として、家庭における親の躾け、即ち色々用事を言い付けられて育つた者何れも親がやってしまつて来た者との差が結果として現われてるのだ。我々にも、教育を学校のみならず、為すべきことがあるだろうし、それが何であるかを真剣に考えなければならぬ。

△（司会）特にテーマを決めた研修会ではないので、教育の問題も出たが、簡単に片付く事柄ではない。責任ある家庭教育をする共に関係者に働きかけていくべきであろう。

Q 教育問題で何か実例は？
A 大学卒を採用したが、知識はも

り「社長の考えをすべて飲み込んで仕事をしてくれ。君達は私の分身なのだ」という訳で、「それが嫌ならヤメちまえ」が口癖。口癖だから誰も辞めない。

って居るが応用が利かない。例えば、ゴミ籠にゴミは捨てるが、ゴミ籠が一杯になつても片付けることをしないで「これ以上は入らない」という具合だ。頭が悪いのではなくて気が廻らないのだ。自分からヤル気で入社した者ですらこの有様で、情無くなる。これだけ



見ても教育の欠陥を窺い知ることが出来ると思ふ。先生もあまりにもサラリーマン的な人が多い。教育者としての自覚と信念を持って教育に当って貰いたい。特に卒業後直ちに就職につくのではなく、インターン制度の様なものや、2、3年実社会を経験してから……というのの一案だと思ふ。

Q 教育問題、協会への提言については共に同感で、前向きに取組むべきだ。会館改装の件については、20数年前、協会の発展を期して本拠地の建設を実現した先輩方に改めて敬意を表すると共にこの際我々がより以上のビルを建てることを考えても良いのではないか。



挨拶される
来賓の
小倉顧問